

# 静岡大会要項

第57回  
全国公立学校教頭会研究大会  
静岡大会要項



郷土を愛し  
人との関わりを大切にし  
夢に羽ばたく



豊かな人間性と創造性を育む学校教育  
キーワード 生き抜く力・絆づくり  
サブテーマ 郷土を愛し、人との関わりを大切にし、夢に羽ばたく子どもの育成

全国公立学校教頭会  
東海・北陸地区公立学校教頭会  
静岡県公立小中学校教頭会

開催期日／平成27年7月29日(水)～31日(金)

開催会場／アクトシティ浜松他



第57回 全国公立学校教頭会研究大会  
第43回 東海・北陸地区公立学校教頭会研究大会  
第42回 静岡県公立小中学校教頭会研究大会

# 開催要項

## 主催

全国公立学校教頭会 東海・北陸地区公立学校教頭会 静岡県公立小中学校教頭会

## 後援

文部科学省・全国都道府県教育長協議会・静岡県・浜松市・静岡県教育委員会  
 静岡市教育委員会・浜松市教育委員会・愛知県教育委員会・岐阜県教育委員会  
 三重県教育委員会・福井県教育委員会・石川県教育委員会・富山県教育委員会  
 全国連合小学校長会・全日本中学校長会・全国へき地教育研究連盟  
 静岡県都市教育長協議会・静岡県町教育長会・静岡県校長会  
 公益社団法人日本PTA全国協議会・静岡県PTA連絡協議会  
 公益社団法人日本教育会・静岡県教育事業団体連絡会  
 公益財団法人日本教育公務員弘済会静岡支部（順不同）

## 大会主題

『豊かな人間性と創造性を育む学校教育』（第十期 全国統一研究主題）

キーワード 〈生き抜く力・絆づくり〉

サブテーマ 「郷土を愛し 人との関わりを大切にし 夢に羽ばたく子どもの育成」

## 開催期日

平成27年 7月29日（水）・30日（木）・31日（金）

## 開催地

静岡県浜松市

## 会場

全体会場：アクトシティ浜松（展示イベントホール）

分科会場：アクトシティ浜松（展示イベントホール・コンgresセンター）・  
 オークラアクトシティホテル浜松・ホテルクラウンパレス浜松・  
 えんてつホール・サーラシティ浜松

## 日程

時刻	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
【1日目】 7月29日(水) アクトシティ浜松 展示イベントホール						受付	開会行事	シンポジウム		
【2日目】 7月30日(木) 各会場		受付	分科会			昼食	分科会			
【3日目】 7月31日(金) アクトシティ浜松 展示イベントホール		受付	研究のまとめ	記念講演	閉会行事					

## シンポジウム

### 「郷土を愛し 人との関わりを大切にし 夢に羽ばたく」

コーディネーター 村山 功氏（静岡大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻〔教職大学院〕教授）  
 （静岡大学教育学部附属静岡中学校校長）

シンポジスト 杉田 洋氏（國學院大學人間開発学部初等教育学科教授 日本特別活動学会理事）  
 （前文部科学省初等中等教育局視学官）

シンポジスト 平山 佐知子氏（フリーアナウンサー）

シンポジスト 松永 勝裕氏（株式会社アンビ・ア代表取締役）

## 記念講演

講師 小和田 哲男氏（静岡大学名誉教授）

演題 「歴史に学ぶ補佐役の役割 ～徳川家康とその家臣団を通して～」

分科会 提言テーマ一覧

会	課題	提言テーマ及びサブテーマ	
第1A分科会	教育課程に関する課題	適切な教育課程の編成・実施と組織的な評価・改善における教頭としてのかかわり ～ふるさと空知を愛する人を育てる教育課程編成の実践交流を通して～	北海道 雨竜町立雨竜中学校 坂本 征人
		特色ある学校づくりを進めるための教育課程の編成 ～地域の教育力の活用を図る取組を通して～	石川県 鹿島郡中能登町立 鳥屋小学校 赤壁 健司
第1B分科会	教育課程に関する課題	特色ある学校づくりのために副校長としてどうかかわればよいか ～「小中一貫」「小中連携」教育の実践～	岩手県 普代村立普代小学校 菅原 俊博
		確かな学力の向上を目指した教育活動への教頭のかかわり ～学校間、地域との連携を図った取組～	静岡県 掛川市立佐東小学校 鈴木 洋一
第2分科会	子どもの発達に関する課題	小中一貫教育における児童・生徒の社会性の育成へ向けた教頭の役割 ～小中・小小の交流活動の充実と教職員の参画意識を高める組織づくり～	新潟県 三条市立井栗小学校 木部 正実
		中1ギャップ克服に向けての教頭としてのかかわり ～「子ども支援ネットワーク構築事業」の取組を通して～	三重県 熊野市立新鹿中学校 長嶋 一朗
		豊かな心をもち、自ら生き生き活動する子どもの育成に向けて ～子どもの自尊感情を高める指導や支援ができる教職員の育成～	静岡県 焼津市立和田中学校 岩田 良祐
第3分科会	教育環境整備に関する課題	地域との連携による教育活動と教頭の役割 ～地域と共にある学校づくりへの第一歩～	奈良県 天理市立西中学校 木下 善博
		学校・家庭・地域と連携した「特色ある学校づくり」を目指して	富山県 魚津市立西布施小学校 土井 美雪
		学校安全における教頭の職務 ～教職員及び児童生徒の危険予測・危機回避能力の育成～	静岡県 島田市立神座小学校 村田 一史



会	課題	提言テーマ及びサブテーマ	
第4分科会	組織・運営に関する課題	教職員の授業力向上により学校組織を活性化させるための教頭の役割 ～学力向上推進リーダーの取組を通して～	山口県 平生町立平生小学校 江藤 明夫
		学校活性化を目指す教師力向上に向けた取組 ～「学ぶ教師集団」になるための教頭の役割～	愛知県 江南市立宮田中学校 長岡 孝行
		学校運営と教頭のかかわり ～校務用パソコンの有効活用を通して～	静岡県 富士市立鷹岡中学校 齋藤 文徳
第5A分科会	教職員の専門性に関する課題	教職員の資質向上にかかる教頭の役割 ～教頭の働きかけ 校内研修やOJTを通して～	香川県 高松市立古高松南小学校 宮竹 弘樹
		「教職員の指導力向上を図るための指導・助言 ～『海津市教育のスタンダード』の構築を目指して～	岐阜県 海津市立東江小学校 伊藤 重雄
第5B分科会	教職員の専門性に関する課題	教職員が人権教育に主体的に取り組むための教頭の役割 ～学校・家庭・地域との連携を通して～	福岡県 豊前市立八屋中学校 高尾 憲治
		「学校経営を支える教職員の育成を目指して」 ～市内教職員の力量を高める～	静岡県 熱海市立網代小学校 片桐 英生
第6分科会	副校長・教頭の職務内容や職務機能に迫る課題	テーマ 副校長・教頭として魅力ややりがいをもって職務を遂行するためには 魅力ある学校づくりを実現するために今、できること 講演 「これからの教育改革と新しい教師像」 講師 文部科学省初等中等教育局企画官 安井順一郎 氏	
特別分科会Ⅰ	特別課題	テーマ 21世紀社会に求められる『資質・能力』を踏まえた教育課程の編成、実践をリードする 副校長・教頭の役割 講師 国立教育政策研究所初等中等教育研究部 部長 大杉 昭英 氏	
特別分科会Ⅱ	特別課題	テーマ 特別支援教育を視点に、今日的な課題を考える 講師 大阪大学大学院特任講師 和久田 学 氏	

# シンポジウム

郷土を愛し 人との関わりを大切にし 夢に羽ばたく

## コーディネーター



村山 功 (むらやま いさお) 氏

静岡大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻（教職大学院）教授  
静岡大学教育学部附属静岡中学校 校長（兼任）  
〈現在〉日本科学教育学会理事 静岡県学力向上推進協議会長  
静岡市学力向上専門家委員会委員 浜松市学力向上分析委員長  
県内多数の小中学校の共同研究・研究の助言者

### ■ 略歴

昭和35年 静岡県に生まれる  
昭和63年 東京大学教育学部助手  
平成3年 静岡大学教育学部講師  
平成5年 “ 助教授  
平成16年 “ 教授  
平成21年 静岡大学大学院教育学研究科教育実践高度化専攻（教職大学院）教授  
教育実践高度化専攻長  
平成27年 静岡大学教育学部附属静岡中学校校長

### ■ 主な著書

『情報メディアの活用』〈編著〉（全国学校図書館協議会）  
『状況的認知研究批判とその問題』（金子書房）  
『状況論的アプローチ 1 状況のインターフェース』（金子書房）  
『認知心理学から理科教育への提言』（北大路書房）  
『教科理解の認知心理学』（新曜社）  
『教科のおもしろさを味わう授業 - 「学ぶ意欲」が育つ授業の手だて』〈共著〉  
『教科理解の認知心理学』〈共著〉（新曜社）

## シンポジスト



杉田 洋 (すぎた ひろし) 氏

國學院大學人間開発学部初等教育学科教授 日本特別活動学会理事  
前文部科学省初等中等教育局視学官

### ■ 略歴

昭和32年 埼玉県に生まれる  
学生時代に青少年の健全育成を中心としたボランティア活動に没頭する。このことにより、埼玉県からアメリカ、カナダに派遣される。  
昭和55年 埼玉県浦和市立小学校（以後18年間4校を経験）  
平成6年 文部省刊行「小学校特別活動指導資料」作成協力者  
平成10年 浦和市教育委員会指導主事  
小学校学習指導要領特別活動編・解説作成協力者  
平成13年 さいたま市教育委员会主任指導主事  
平成16年 文部科学省初等中等教育局教科調査官  
平成20年 学校学習指導要領特別活動編・解説教科調査官  
平成25年 文部科学省初等中等教育局視学官  
国立教育政策研究所刊リーフレット及び指導資料「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動(小学校編) ～26年  
平成27年 國學院大學人間開発学部初等教育学科教授

### ■ 主な著書

『よりよい人間関係を築く特別活動』図書文化  
『特別活動の教育技術』小学館  
『学級活動指導法セミナー（中学年）子どもがもえる活動づくり』明治図書

## シンポジスト



平 山 佐知子 (ひらやま さちこ) 氏

(フリーアナウンサー)

### ■略歴

石川県金沢市出身。大学卒業後、民間企業で勤務。

平成11年からはNHK静岡放送局 報道番組「たつぶり静岡」等のキャスターをはじめ15年に渡り生放送に関わる現役のアナウンサー。

平成25年4月からはフリーとなり、引き続きNHK静岡の土曜日のテレビ・ラジオ出演のほか、イベントMCや講演、企業研修（話し方講座）など、活動の幅を広げている。

▼静岡市「スペシャリスト」（静岡市教育委員会）

▼磐田市市歌選定委員

▼藤枝市・島田市「東海道街道文化創造事業」オフィシャルサポーター

▼「こども未来大学」講師（平成25年～）

### ■主なTV・ラジオ出演

平成8年～SATV 「スポーツパラダイス」アシスタント兼リポーター

平成8年～11年 SDT 「だいすきふるさと」レギュラーリポーター

平成9年～SATV 「わくわく情報ザウルス」レギュラーリポーター

平成10年～CX 「ハッピーバースデー」レギュラー

平成11年～25年 NHK静岡放送局「たつぶり静岡」メインキャスター

「オンリーワンを目指せ」「NHK静岡放送局80周年記念」特別番組メインキャスター等

平成25年4月～ NHK静岡 土日テレビ・ラジオニュース「たつぶり静岡」中継リポーター

浜松市の広報番組「家康くんのリサーチ1はままつ」レギュラー

平成26年4月～ NHK静岡 土曜テレビ・ラジオニュース

## シンポジスト



松 永 勝 裕 (まつなが よしひろ) 氏 (株式会社アンビ・ア代表取締役)

昭和16年4月タクシー事業を創業。その後、バス事業、自動車整備事業、旅行事業、ホテル事業など、運送業からサービス・レジャー産業へと多角的に展開。創業60周年を迎えた平成13年10月27日には「第21回 全国豊かな海づくり大会」へのご臨席のため、天皇皇后両陛下がご宿泊。30歳で社長に就任、三代目。座右の銘は、「初心忘るべからず」

### ■略歴

大学卒業後、民間会社に就職

昭和58年4月 イースタンモーターズ株式会社 入社

昭和60年4月 焼津自動車株式会社 入社

平成2年11月 同社 取締役市場開発部長 就任

平成3年11月 同社 代表取締役社長 就任

平成7年6月 焼津自動車株式会社は株式会社アンビ・アへ社名変更

平成11年6月 焼津市社会教育委員（平成15年5月31日まで）

平成12年5月 焼津市観光協会 会長

平成13年5月 公益社団法人藤枝法人会 副会長

平成16年5月 商業組合静岡県タクシー協会 副理事

平成19年4月 日本生命保険相互会社総代

現在に至る

### ■事業内容

ハイヤー・タクシー事業・観光バス事業・国内・海外旅行事業・自動車整備事業・ホテル事業・損害保険代理業・不動産売買 等 静岡県内で幅広く事業を行っている。

## 演題



## 「歴史に学ぶ補佐役の役割 ～徳川家康とその家臣団を通して～」

講師 小和田 哲男 氏 (静岡大学名誉教授)

### ■プロフィール

専門は日本中世史、特に戦国時代史で、主著『後北条氏研究』『近江浅井氏の研究』のほか、『小和田哲男著作集』などの研究書の刊行で、戦国時代史研究の第一人者として知られている。また、NHK総合テレビおよびNHK Eテレの番組などにも出演し、わかりやすい解説には定評がある。

1996年NHK大河ドラマ「秀吉」、2006年の「功名が辻」、2009年の「天地人」、2011年の「江～姫たちの戦国～」、2014年の「軍師官兵衛」で時代考証をつとめた。

### ■経歴

1944年 静岡市に生まれる。  
1972年 早稲田大学大学院文学研究科博士課程修了  
2009年 静岡大学を定年退職  
現在 静岡大学名誉教授、文学博士

### ■主な著書

『戦国の群像』(学研新書)  
『詳細図説 信長記』(新人物往来社)  
『詳細図説 秀吉記』(新人物往来社)  
『詳細図説 家康記』(新人物往来社)  
『歴史ドラマと時代考証』(中経の文庫)  
『お江と戦国武将の妻たち』(角川ソフィア文庫)  
『黒田如水』(ミネルヴァ書房)  
『さかのぼり日本史⑦戦国一富を制する者が天下を制すー』(NHK出版)

# 分科会 課題一覧

<p>❖❖ 第1課題 ❖❖</p> <p>教育課程に関する課題</p>	<p>第1 A分科会</p> <p>第1 B分科会</p>
<p>❖❖ 第2課題 ❖❖</p> <p>子どもの発達に関する課題</p>	<p>第2分科会</p>
<p>❖❖ 第3課題 ❖❖</p> <p>教育環境整備に関する課題</p>	<p>第3分科会</p>
<p>❖❖ 第4課題 ❖❖</p> <p>組織・運営に関する課題</p>	<p>第4分科会</p>
<p>❖❖ 第5課題 ❖❖</p> <p>教職員の専門性に関する課題</p>	<p>第5 A分科会</p> <p>第5 B分科会</p>
<p>❖❖ 第6課題 ❖❖</p> <p>副校長・教頭の職場内容や職務機能に迫る課題</p>	<p>第6分科会</p>
<p>❖❖ 特別課題Ⅰ ❖❖</p> <p>21世紀社会に求められる「資質・能力」を踏まえた 教育課程の編成、実践をリードする副校長・教頭の役割</p>	<p>特別分科会Ⅰ</p>
<p>❖❖ 特別課題Ⅱ ❖❖</p> <p>特別支援教育を視点に、今日的な課題を考える</p>	<p>特別分科会Ⅱ</p>

1 A

1 B

2

3

4

5 A

5 B

6

特Ⅰ

特Ⅱ

